

いきいきわくわく学びの旅 & WAKUWAKU Eツアー研修報告会



来賓やスタッフ、保護者が見守る中、参加した児童・生徒たちは堂々と発表を行いました。

10月8日、交流センター「ふれ愛館」で、いいたて希望の里学園5・6年生が参加した『いきいきわくわく学びの旅』と8・9年生が参加した『語学研修希望の里WAKUWAKU Eツアー』の合同研修報告会が行われました。

報告はそれぞれがタブレットを活用して研修先で撮影した写真や動画、参加した感想などをスライドにまとめ、会場にいる全員を巻き込んだクイズを盛り込みながら、学んできたことを楽しく分かりやすく発表しました。

「あぶくまもち」をおいしく！ 特性を活かす加工品の試食会



意見を元にさらに試作を重ね「いいたて風の子マルシェ」でも試食会を開催しました。

村は、もち米「あぶくまもち」の特性を活かした食品を開発し、その魅力を高めていこうと取り組みを進めています。10月3日には、交流センター「ふれ愛館」で、日本調理師専門学校（郡山市）が手がける食のプラットフォーム「THE」が試作した『あぶくまもちシュウマイ』と『牛ぼたもち』の試食会を開催しました。どちらも村産の「あぶくまもち」と牛肉が使われています。食感や風味、食材の組み合わせにもこだわった試作品を、生産者や村の関係者が試食。改良に向けて意見を交わしました。

「ふるさとの祭り2022」 村の芸能が舞台を彩りました



大倉の神楽



小宮の田植え踊り

10月8日・9日、「道の駅なみえ」（浪江町）の特設会場で、「ふるさとの祭り2022 in 道の駅なみえ」が開催され、2日目のステージに、「大倉の神楽」「小宮の田植え踊り」が登場しました。

この催しは、本県の民俗芸能の魅力、さらには復興に取り組む姿を発信しようと、平成25年から県が開催しています。ステージでは、飯館村に数多くの民俗芸能が伝わっていたこと、またその一つひとつに特徴があることなどが紹介され、見応えのある披露に大きな拍手が送られました。

庄司建設工業株式会社から 寄附をいただきました



寄附贈呈式にて庄司代表取締役社長（右）と杉岡村長。同社には復興事業にもご尽力いただいています。

10月5日、庄司建設工業株式会社の庄司岳洋代表取締役社長が来庁し、同社の創立100周年記念事業として、100万円の寄附をいただきました。寄附は、「いいたてっ子未来基金」で、子どもたちの教育支援に活用されます。

庄司建設工業株式会社は、令和4年3月1日に創立100周年を迎えました。庄司代表取締役社長は「飯館村をルーツに創業し、村の仕事に請け負いながら本村も成長してきました。子どもたちのために役立てていただきたい」と思いを語りました。

防犯キャンペーンで 犯罪被害防止を呼びかけ



なりすまし詐欺被害防止広報用マスコットキャラクター「カクニンジャー福くん」も駆け付け、一緒に犯罪被害防止を呼び掛けました。

10月12日、安全・安心なまちづくりのため、犯罪被害防止を呼び掛ける防犯キャンペーンが行われました。キャンペーンには、南相馬警察署生活安全課や南相馬地区防犯指導隊飯館支部隊（渡邊富士男隊長／飯樋町）などから合わせて約20人が参加。道の駅までい館と村内の金融機関に分かれて、訪れた人に啓発チラシやグッズを配布しました。

杉岡村長もキャンペーンに参加し、「本キャンペーンが犯罪防止の新たなきっかけとなるよう、村としても最大限支援したい」とあいさつしました。

飯館村教育委員会 教育委員に庄司さんを再任



辞令交付式には、高橋副村長、遠藤教育長らが出席。式に続き、今後の取り組みについて懇談しました。

飯館村教育委員に庄司智美さん（草野）が再任されました。辞令交付式は10月7日に行われ、杉岡村長が辞令を交付しました。

教育委員は、自治体の長が議会の同意を得て任命します。飯館村教育委員会には4人の教育委員が在籍しており、任期は4年となっています。庄司さんの新たな任期は令和4年10月1日から令和8年9月30日までです。辞令を受けた庄司さんは「子どもたちを取り巻くさまざまな社会課題にも取り組んでいきたい」と話していました。